

## ■学校経営のポイント

### 質の高い学力の向上戦略

小島 宏

文科省全国学力調査をはじめ都道府県・区市独自の学力調査が行われ、学力向上は各学校の重要課題になっている。平均値や順位などに一喜一憂することなく、質の高い学力を向上させることは危機管理の一つとして考え、経営戦略の中に組み込み、学校として組織的に克服してしまうことが肝要である。

#### 学力の中身の吟味

児童生徒の学力向上を実現させるためには、学力の中身を明確にし、知識・技能の反復練習を超えた質の高い学力の向上を目指す方向で、校長のリーダーシップの発揮が求められる。

学校教育法 30 条 2 項や学習指導要領総則第 1 の 1、指導要録の評価の観点を根拠に、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」を学力の中身と捉えることができる。

つまり、理解し使えるように習得できている知識と技能、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力等及び主体的な学習態度（学習意欲）である。

#### 日常の授業の充実が前提

質の高い学力を向上させるためには、日常の授業の充実が前提になる。授業力のある教師を育て、学校を組織化し、日常の授業を充実し、学力向上をシステム化していく必要がある。

##### (1) 授業と宿題と朝学習などの連動

学力向上の第一は、充実した授業である。授業の中で、児童生徒を活動させ、考えさせ、表現させ、学び合わせ、理解させ、一応できるようにする。

第二に、授業に関連した内容をその日の家庭学習（宿題）に課し、練習（復習）させ、児童生徒に授業の内容の理解度を自覚させるようにする。

第三に、翌日以降の朝学習で関連する内容の練習をさせ、理解と定着を一層確実にする。

第四に、理解・定着が不十分なら補充学習を行い、

十分なら発展学習や自発的学習を奨励する。

このように教科書の内容の学習をシステム化し、日常化することが、漢方薬のように児童生徒の学力を徐々に確実に向上させていくことになる。

##### (2) 校長・教頭の直接の指導

檄を飛ばしても教師の授業力は向上しない。校長や教頭、主幹教諭などが連携して、授業観察を行い良い点をほめ、課題について具体的に指導する OJT を実施する。特に、経験の浅い教師や課題のある教師をきめ細かく育てることが大切である。

##### (3) 同僚間の学び合い

教師の授業力の向上には、校長・教頭等による積極的な研修と、先輩教師による若手教師への指導、同僚間等の隠れた（ヒドウン：hidden）学び合いが大きな効果をもたらす。校長・教頭は、ずっと以前からあるこのような学校文化を活性化し、校内で当たり前に行われるような雰囲気醸成したい。

#### 学力調査の性格の理解

ところで、多少は、学力調査の性格を分析し、把握しておくことが必要である。文科省 A 問題は教科書の内容の確実な理解・習得と、これらを活用して解決する単元の練習問題や応用問題で十分である。

文科省 B 問題に対応するためには、授業の中で知識や技能及び考え方を総合的に活用して課題を解決したり、判断したり、文章記述や説明をしたりする学習活動を取り入れた授業展開が必要になる。

#### 保護者との連携

児童生徒の学力向上には、保護者の理解と協力（特に健康や生活リズム、家庭学習の習慣）も欠かせない。学校の方針と計画の説明、学校公開による実際の確認など積極的な広報戦略が重要である。

（こじま・ひろし＝（財）教育調査研究所研究部長）

●6月18日発売！問題をこじらせないための初期対応のノウハウが満載！

## 保護者対応で困ったときに開く本

【編集】佐藤晴雄（日本大学教授）

A5判 204 頁／定価 2100 円